

今後の調査・検討の予定

『水・物質循環系の再生』のために達成すべき目標（再掲）

目標①：湿原再生のための望ましい（1980年以前の）地下水位を保全する。

目標②：釧路川流域の水・物質循環メカニズムを把握し、湿原再生の各種施策の手法の検討や評価が可能となるようにする。

目標③：湿原や湖沼、河川に流入する水質が良好に保たれるように、栄養塩や汚濁物質の負荷を抑制する。

表 3.1 今後の調査・検討の予定

	主 な 検 討 項 目
平成 20 年度	① 水循環構成要素の整理・分析 ② 地下水位シミュレーション方法の検討 ③ 現況の地下水位シミュレーション（釧路川流域モデル）
来年度以降	① 現況の地下水位シミュレーション（湿原域モデル） ② 過去（1980年以前）の地下水位シミュレーション ③ 釧路川流域の水循環メカニズムの推定 ④ 湿原流入河川における栄養塩類調査 ⑤ 水循環メカニズムを踏まえた、物質循環メカニズムの検討方針の設定 ⑥ 釧路川流域の水・物質循環メカニズムの推定